

えんでこ 運営推進会議録

日時 令和6年12月20日(金) 15:00:~15:40 えんでこ機能訓練室

出席 桜井様(ご利用者家族代表)、布施様(西内野民生委員)
武田(相談員)、大津(管理者)

欠席 小菅様(ご利用者代表)、江口様(平和台自治会長)、大平様(包括赤塚)
泉井様(内野リハ道場) 高橋(事務局長)

内容

1.参加者自己紹介

2.活動内容、利用状況等の報告

①「えんでこ利用状況」報告：大津

- ・現在の登録者数、男女比平均年齢 平均介護度等 大きな変化は無し。
18/日 定員で月曜、木曜は17名の利用状況 他の曜日は定員満。
- ・認知機能低下、軽度認知障害(MCI)利用者が多くなっている。
利用者同士 互いの意見に納得がいかず大声を上げる場面があったり、手を上げ
そうになったりすることもあり、職員が止めに入ることがあった。
女性グループの固定があり、新規の方をスムーズに受け入れることが難しい
状況がある→職員が中に入り少しずつ受け入れてもらうようにしている。
- ・すべての作業にこれまで以上により細やかな支援、見守り、助言が必要となっ
ている。

※11月弥彦神社での行方不明の事故について

利用者7名、職員2名で午後から菊祭り観賞帰宅時に利用者1名姿が見えず、
警察へ通報 捜索中に家族より帰宅したとの連絡が入った。
自身で、弥彦駅から電車に乗り、最寄りの駅に到着した と本人より。
体調不良や負傷、衰弱の様子はなし。予定通りの通所を継続している。

職員全員で……

即時に事故の原因分析、具体的な事故防止対策、事故発生時対応策を改めて考え

リスク管理委員会より指定を受けた点も考慮し、マニュアルを見直し、今後の対応を検討した。

②最近の主な活動の報告：武田

- ・梅雨から初夏にかけて梅干し作り
完熟梅が手に入り今年は甘味あり柔らかい良い梅干しが出来た。
- ・その他、夏バテ用に梅ジュースを作り好評だった。

- ・今年の秋は果物を多く仕入れる事が出来、利用者様、ご家族 職員にも販売した。
初のリンゴ狩りに挑戦するため、五泉へ行ったが、五泉は遠かったとの感想あり。

- ・毎週火曜日に行っている、うちのまちづくりセンターでの活動PRをかねての
販売は、常連さんたちも出来て、待ってくれるようになり地域に根づく様になってきた。 えんでこの畑で採れた野菜や女性利用者が手先の器用さを発揮した買い物布バッグ、アクリルたわし、夏は涼しさを感じられるクールネックが良く売れていた。

- ・秋は近くの小学生たちとの “芋ほり交流会”が出来た。

- ・木山の高野酒造のイベントやゆうばえマルシェに参加するため、わんこのおやつや子供のおもちゃ（レインボースティック）作りに挑戦。
細かい作業をこなしていた。

- ・秋の月見団子、シフォンケーキ 最近は奥様の誕生日が近いのでレアチーズケーキを作りたいとの声。 とても美味しく出来上がり、奥様も喜んで下さった、との事だった。 そのお話を聞かせて下さる利用者様の表情がとても輝いていた。

- ・新潟市主催のフラワーパートナー事業に参加し新潟駅前周辺で花壇の管理を開始。
えんでこは万代のアパホテル前のプランター2基を管理することになった。
チューリップの球根とパンジーの花の苗を植えに行った。

- ・フロアーにはクリスマスツリーが飾られ 古い文庫本で作る“マガジンツリー”
作りに取り組んでいたと思いきや、現在は来年の干支の蛇を（白蛇）を紙粘土で作製中。 そしてお正月には 担当ケアマネにも毎年恒例の手作り和紙の年賀状

が届く予定。

- ・最近ハマリ気味なのが、手作り餃子。皮から手作りの餃子もあり大好評。

3.質疑応答

弥彦の菊祭りについて

- ・見守りが必要な利用者を見守ってくれる利用者がいても良いのでは？
グループ分けし、職員の他にも簡単な見守りの役目を果たしてくれる利用者を1名ずつでも入れていると職員のと利用者の目とあり、行き届いた見守りが出来ると思う。
- ・職員が利用者を視野に入れるのが一般的だが、利用者から職員が分かり易いように目立つ色の服装にしてみるのも良いと思う。（布施様）
→大変参考になります。今後は是非実践していきます。

※次回開催は令和7年6月を予定しております。ご協力をお願いいたします。

